

かがやき



主な内容

- ・かがやく町民のつどい
- ・総会
- ・研修会
- ・県次世代人材づくり事業に参加して
- ・女性会議2011松江
- ・編集後記

昨年の広報誌は震災前に印刷しました。大震災に触れていないことに違和感さえ感じます。

この一年、大地震と津波、原発事故で私たちは何が大切なのかを考えさせられました。かけがえのないものの再認識や、当たり前の日常を失う喪失感。

私たちは、ここでこうして元気で暮らしていけることを守りたいですね。

「今日の夕ご飯は鍋にしよう」などと、いつもの暮らしのありがたさを感じつつ。

まず、家庭の民主化を。そこから、始まる。

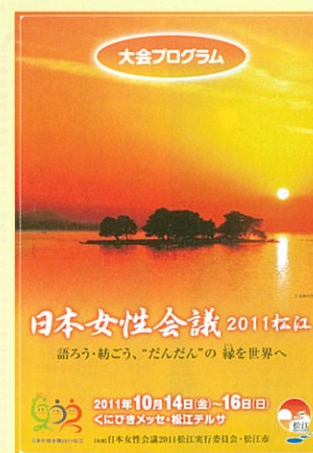
家庭とジェンダー

すべての女性が、すべての人が、尊重される家庭とは

「男は男らしく、女は女らしく」に賛成ですか？「男が妻子を扶養する」のは当然ですか？ 今日でも、日本の女性たちは、結婚すると90%以上が夫の姓に改姓し、第1子の出産までに70%以上が退職して夫の扶養家族となっています。女性たちの3人に1人がDVの被害を受け（男性では6人に1人）、離婚すると子どもの8割は母親が親権者となりますが、母子世帯の貧困率は50.2%（一般世帯16%）です。でも、男性のほうが自由で幸せかというとも言い切れません。自殺も過労死も大半は男性です。

すべての人が、自由で尊重される男女共生社会にふさわしい家族のあり方について、基調講演とパネルディスカッションを通して考えましょう。

「語ろう・紡ごう・だんだんの縁を世界へ」をテーマに雨の降る中、神々の国しまねでの開催となりました。こちらに来るのに飛行機は中高年で満席。私は出雲から電車で現地入りしましたが人の流れも皆、松江に何かってその輪に押されるかのよう



意識がますます向上し、地域が抱える様々な課題の解決が男女共同参画を切り口として進んでいく事を期待するというものです。200人位の方とコメントターやパネリストの話を聞き、DVと虐待はセット、DVは7回繰返すとの話を聞き、ゾツとした自分の家庭を思いホッとしたりの繰返しでした。韓国から嫁入りし、ことばの壁や風習、家事、育児に加え夫の親の介護など、多くの日本の女性も経験している苦労を経ってきたが

『日本女性会議2011松江』に参加して

編集後記

現在女団連加盟団体は五団体となってしまいました。そんな中、事業へ参加協力して下さった方々へ感謝すると共に、十二号発行にあたり、寄稿いただきました皆様に心よりお礼申し上げます。今後も女団連へのご協力を、よろしくお願い致します。

編集委員

菊地富士子 齋藤 恭子
齋藤 芳子 大塚 美枝
酒井 由理 廣木 初江

本人は明るく語り、聞いた人を元気づけるほどの強くやさしい方でした。

介護は男も女もするものとして義務ではなく、自分からやろうとする気持ちが大切であるという事を学んで貴重な一日でした。

かがやく町民のつどい

芳賀町女性団体連絡協議会

かがやく町民のつどい

『すっきり暮らす』を学ぶ
～片付け上手になろう～

講師 宇都宮友の会 渡辺よし江 氏

- ・衣生活 …… 片付かないのはなぜ? ⇒ ポイントがあるんです
- ・住まい方 …… 使いやすく、すっきり ⇒ すぐに使えるアドバイス
- ・実習 …… ざわって、納得(笑) ⇒ 作って、お持ち帰り

※牛乳の空きパック……ある方はお持ち下さい
※片付けに役立つグッズを先着100名にプレゼント

日時

平成 24 年 2 月 25 日(土) 午後 1 時～

場所

農業者トレーニングセンター 研修室



参加費 : 無料 お誘い合わせのうえご参加ください
男性の参加も！お待ちしております
申し込み : 町民会館 黒崎(月曜休み) ☎ 677-0009
Fax 677-4918

当日のプログラム

- ◎台所・居間を使いやすく
 - ・置き場所を決める
 - ・量、数を考える
- ◎衣生活
 - ・収納の仕方
 - ・管理の仕方
 - ・自分に合った持ち数
- ◎工作タイム
 - ・仕切り作り
 - ・広告紙の小物箱



今年度のかがやく町民のつどいは、『すっきり暮らす』を学ぶ片付け上手になろう～でした。普段の生活を見直すきっかけになればと思い開催しました。「断捨離」「片付け」「シンブルに暮らす」などの書物が売れ、整理整頓が商売になる中、物が有ることより始末をとという時代になって来たのです。限られた物の中で、それを大切にすることが、心ゆ



たかになると言うのです。今回の講師の渡辺先生、倉富先生は、ご自分の生活のありのままを、実物まで持参し見せて下さいました。きちんと整理された筆筒の衣類に感嘆しました。見習うべく早速みんなで仕切り作りに没頭！参加者が持ち帰ったそれらで、筆筒が整理できたことと集い談笑し学び合えたことを成果したいと思います。



かがやく町民のつどいに参加者として

祖母井 吉佳 広子

農業者トレーニングセンターで「片付け上手になろう」が開催されました。衣生活の中の収納方法や着なくなった衣類のリサイクル方法等、生活に密着した、毎日の生活に役立つお話を聞く事ができました。着なくなったセーターがぬいぐるみになったり生まれ変わった沢山のリサイクル品が展示されており、興味深く拝見させて頂きました。



実習では、厚紙を使ったタンスの仕切りや牛乳パックで収納グッズを使ったり、広告で小物入れ箱の作り方を教えて頂いたり、楽しい時間を過ごさせて頂きました。早速家に帰って、タンスの仕切りを使い、上手に収納する事が出来ました。これからも、『片付け上手になろう』を心がけ、生活して行きたいと思っています。

平成23年度芳賀町女性団体連絡協議会役員

役職	氏名	団体名
会長	廣木 初江	芳賀町ひばりの会
副会長	佐藤 幸枝	芳賀くらしの会
副会長	菊地富士子	JAはが野芳賀地区女性会
書記	荷見イツ子	芳賀町ひばりの会
"	黒崎 康夫	事務局
会計	小林 功子	JAはが野芳賀地区女性会
"	酒井 由理	芳賀くらしの会
理事	大島 知子	JAはが野芳賀地区女性会
"	大塚 美枝	芳賀ひばりの会
"	関 優子	芳賀くらしの会
"	小林 早苗	農村生活研究グループ
"	大野谷 幸	農村生活研究グループ
"	磯 孝	とちぎつばさの会芳賀支部
"	斎藤 芳子	とちぎつばさの会芳賀支部
監事	斎藤 恭子	農村生活研究グループ
"	増淵さつき	とちぎつばさの会芳賀支部

平成二十三年 芳賀町女性団体連絡協議会総会

五月二十一日(土) 町民会館研修室において、豊田町長、岩村議長のご臨席をいただき、総会が開かれました。今年度は震災もあり大変な時期でしたが「芳賀くらしの会」岡田知子さん議長の元、議事進行が

スムーズに運び無事終わる事ができました。総会終了後、関優子さんの日本女性会議きょうと報告、酒井由理さんの栃木県次世代人材づくり事業に参加しての報告会が行われました。

十月二日(日)

午前
の
研
修

午後
の
研
修

昨年の町民のつどいは、聴
 覚障がい者の人権を扱った映



風速三〇メートルまでの風が体験できます。

画『ゆずり葉』の上映でした。午後にはこの映画の主役だった、今井絵里子さんのライブとトークがありました。彼女は、NHKの手話講座にも生徒として出演しています。我が子の耳が聞こえないというハンデの中で、子育てを大変な事とは思っていないと言っていました。初めての育児が聞こえないなら、他のコミュニケーションになったのだと。今井さんの後ろのスクリーンには同時通訳のように、今交わされた会話が大きな文字で流れていました。

滝のような豪雨の中、音響と照明で再現された雷がとどろきます。

修会に
参加して

減多に出来ない研修をして、
とても有意義な研修でした。
その後、参加者全員とバスの
運転手さんで頂いた昼食が、
美味しかった事、楽しかった
です。有難うございました。

り事業に
参加して

て素晴らしかったです。

応用研修では「グローバル社会に向けて」をテーマにグループワークを進めました。

これらの研修では、地域も世代も職業も違う様々な出会いがありました。この出会いを生かし、地域に大いに役立てていきたいと思いました。



5